

鉾子支部結成＝仙台・盛岡帰任者獲得！

6月総力決起人



81.6.13
No. 764

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六(公衆)電話(22)七二〇七

組紐破壊策動を粉碎し、 組紐の強化・拡大へ！

六月十一日十三時より、動力車会館において第14回支部代表者会議を開催した。会議の討議事項は、「当面する組織強化・拡大の取り組みについて」を主題にして活発な討論を行い、六月十二日より開始される鉾子支部早期結成、仙台・盛岡帰任者獲得のたまたかいを、動労「本部」反動分子との組織争闘戦の最後の結着をつけるたまたかいと位置づけ、動労千葉の総力をあげて取り組み、ことを満場一致で決定した。

全組合員のみなさん！ 仙台・盛岡帰任者獲得、鉾子支部結成をめぐる攻防戦は、動労千葉の未来を決するたまたかいであり、「本部」スト破り集団・土屋一派解体争闘の新たな出発点である。総力をあげて決起しようではないか。

「本部」反動分子の最近の動向

動労「本部」反動分子は、6月12、14日に開催される「動労青年部全国委員会」方針(案)に、次の内容を記載している。「……地本青年部の早急な再建に向け奮闘すると同時に、明らかに日本型のネオファシズム運動の担い手へと組織化されつつある『千葉動労』・中野一味を一掃し、『千葉動労』を解体していかなければならぬ。それはまた、いまだ組織内にはほんのわずかに存在する『千葉動労』は正しい『なるもの』の組織的克服として実現されていかねばならない。」

「……この期におよんでも『千葉動労』からの離脱を決意しない組合員は、明確に中野一味の先兵であり、全労働者・人民への敵対者である」と、このようにいひなし、動労千葉解体争闘を押し進めるというものである。

「本部」反動分子自らが権力・当局の先兵となりはて、三月ジェット決戦スト破りを行い、三里塚軍事空港建設推進に加担し、三五万人体制攻撃の水先案内人となり、権力・当局に弾圧処分を要請する反労働者的行爲を繰り返している事実をひた隠しにして、よくも又け又けといえるものである。

この「青年部方針(案)」の云い方こそ、まさにファシストの論理そのものである。

自らが左翼的ポーズをとり、相手を「全労働者・人民の敵対者」などと規定し、その熱には労働組合の論理と倫理をかたぐりすて、権力と一体となって背後からの武装襲撃(79年4月、80年4・15津田沼襲撃)を行ったことを正当化するものである。

鉾子支部早期結成！ 仙台・盛岡帰任者は 動労千葉に結集しよう

鉾子支部の仲間皆さん！
仙台・盛岡からの帰任者の皆さん！
わが動労千葉は一点だけ君達に向う。
動労千葉解体のため、東京の草マル分子の手先になるのか。
千葉の運転職場の労働条件を破壊し、職場慣行を破壊する、その手先になるのか。
それは、労働者の立場をなげすて、当局に自ら屈服する道を歩むことになるのだ。

すべての諸君が、いまこそ「本部」反動分子・土屋一派から勇気をもって決別し、動労千葉の正しい路線の下に結集し、共に闘うことを訴える。

14日(日)の千葉市議会議員補選選挙は
社会党公認
動労千葉推挙
中堀さみ子を。